

5月定例記者懇談会

令和8年5月26日(火)

11時00分～11時40分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞
事務局：唐澤、栗原、荻原、濱

町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス（担当課PR分）

○令和8年度「箕輪町平和学習」広島平和記念式典参加について（学校教育課教育総務係）

○高齢者・障がい者生活応援券事業について（福祉課社会福祉係）

○令和8年度企画展「物語を描く」について（文化スポーツ課文化財係）

○令和8年度健康ポイント事業について（健康推進課健康づくり支援係）

○令和7年度ふるさと納税の実績について（企画振興課みのわの魅力発信室）

○令和7年度箕輪町移住定住施策の実施について（企画振興課みのわの魅力発信室）

町長コメント

1 令和8年度「箕輪町平和学習」広島平和記念式典参加について **(学校教育課 教育総務係)**

○概要

別添資料 (p2) にて説明

- ・ 8月5～6日にかけて、広島平和記念式典に参加するための平和学習を実施。
- ・ 3回目の参加で、全国子ども平和サミットでは、今回初めて平和の日の誓いの発表を行う予定。

(町長) 今年度も引き続いての実施となりますが、事前学習や事後学習があるので子どもたちの成長を見ることができると考えています。広島に行く前は教科書で見た言葉ですが、帰ってくると自分の言葉になって帰ってくる、これは凄いことだなと思っていますので、多くの皆さんに参加していただきたいと思います。

2 高齢者・障がい者生活応援券事業について **(福祉課 社会福祉係)**

○概要

別添資料 (p3-6) にて説明

- ・ 高齢者、障がい者の物価高騰対策を目的にした生活応援券事業の実施。
- ・ 75歳以上の高齢者 一人 5,000円、74歳以下の障がい者 一人 3,000円の応援券配布。
- ・ 応援券の取扱店で、令和8年12月31日まで利用可能。

3 令和8年度企画展「物語を描く」について **(文化スポーツ課 文化財係)**

○概要

別添資料 (p7-21) にて説明

- ・ 物語の絵をテーマに、箕輪町出身の作家が手掛けた「物語絵」を展示。
- ・ 開催期間は令和8年6月13日～7月20日。期間中、関連イベントも実施。

4 令和8年度健康ポイント事業について

(健康推進課 健康づくり支援係)

○概要

別添資料 (p22-27) にて説明

- ・健康ポイント事業の内容がリニューアル。健診・検診、飲酒・禁煙、運動でポイントが貯められ、1,000ポイント集めると1,500のみのちゃんポイントと交換が可能。

5 令和7年度ふるさと納税の実績について

(企画振興課 みのわの魅力発信室)

○概要

別添資料 (p28-30) にて説明

- ・資料に基づき、令和7年度実績の説明

(町長) ふるさと納税について、説明どおりの結果となりました。一番の課題は、梨の混合事案を受け、梨やリンゴの返礼品をストップさせていたことで、昨年度はこういったこともあり、2億円を超える減額になっております。これはやむを得ない措置でありましたし、総務省からも梨については様々な指導がありましたので、それに応えていたということでもあります。

現在は箕輪町だけでなく、南箕輪村、伊那市につきましても、この関係については決着をきていますので、再開をしていきたいと思っています。再開方法や時期については、それぞれの市町村によってだいぶ違いますが、少なくとも箕輪町は、梨の圃場については箕輪町にしかないということでもありますし、伊那市、南箕輪村にも理解をいただいていますので、箕輪町単独に切り替えていきたいと思っています。

リンゴにつきましてもは課題があったわけではないのですが、混在の恐れがあるということもあってストップをしていたわけですが、それについては問題がございませんでした。ただ、リンゴの品種によって、市町村で作っているものがバラバラになっておりますので、それらを見極めながら再開を検討したいと思っています。それぞれの市町村で作られている品種が異なりますが、主要圃場に集められて選果をしていくという形のため、それをうまく仕分けられるかどうかという問題も、若干残っていますが、その点についても、3市町村でよく整理をして再開をしていきたいというふうに思っています。

なお、梨につきましてもは、6月を目途に再開をしたいと思っています。

リンゴにつきましてもは、品種によってはもう一度地場産品基準の見直しを行わなければならない部分があるということで、秋以降の再開だと思っています。もう少し早い段階でも受付はできないかとは思っていますが、これについては上位機関の考え方に沿っていかざるを得ないと思っています。

いずれにしても、事業者説明会を行い、リンゴや梨だけではなくすべての返礼品事業社に課題や問題点を説明して、誓約書を提出してもらおうということにしています。今後、問題がないように今回のことを糧にして、返礼品の処理を確実なものにしていきたいと思っています。

私は、ふるさと納税の制度そのものが決して正しいとか、理にかなっているとは思っていませんが、町村にとってはふるさと納税の財源が一般財源になりますので、できる限り活用はしてと思っています。ですから、今回の2億5千万というのは、返礼品ベースでいけば大変大きな一般財源が減収しているということになりまして、今年度予算にも大きく影響しておりますので、なんとか復活をさせていきたいと思っています。

(記者) 今回の大幅な減少という結果の中で、どの返礼品がどれくらい減少して影響がでたか。

(担当) およそ寄附額が、2億4千万円の減となっていますが、内訳としては梨やリンゴの受付停止とナッツの減少分がそれぞれ1億2千万ずつの減少のイメージであります。

6 令和7年度箕輪町移住定住施策の実施について (企画振興課 みのわの魅力発信室)

○概要

別添資料 (p31-36) にて説明

- ・資料に基づき、令和7年度実績の説明

○町長コメント

① 5月1日に国から国勢調査の人口について速報値が出ております。これから確定値も出てまいります。県の人口も9万人を超える減で、4.5%の減というふうになっておりますし、箕輪町においても23,858人ということで、4.5%の減になりました。この減少は、私どもとしては大変ショックといいますか、危機意識を持っていますが、住民基本台帳の人口よりかなり低いので、国調も十分捉え切れているかどうかという問題、国調は全数調査ですが、ああいった形の手法でこれからも調査することになると、数値が正確なものかどうかということには若干気になる場所がありますが、いずれにしても23,000人台に減少したということで、県の数値が入れ替わると思います。これは、交付税の算定数値に大きく影響してきますので心配をしています。

前回から見ますと、1,100人くらいの減少ということになりますので、1年間でおよそ200人の減少ということになって、箕輪町の場合、現在300人がお亡くなりになって150人が生まれるということで、自然減が150人の減少ですので、それに50人くらいが社会減として上乗せされているということです。

社会増減の部分は多かったり少なかったりしているのですが、どちらにしてもトータルとして社会減になってきたということですので、いかに留めていくかということは大変難しいことになっていると思います。

先ほど、移住定住対策についての結果の発表がありました。これらについて少し政策の見直しをしないといけないと思っています。Uターン、Iターンの手法について、お金を増やせば、UターンやIターンが増えるかっていうと、なかなかそうではないとは思いますが、そもそもその原因はやはり20代の東京への就職や進学とか婚姻率の低さとか晩婚化とか、そういったことが子どもの数に影響している。移住定住対策で全体を増やすということは、そんなに簡単なことではありませんが、少しその部分を考えていかなければいけないかなと思っています。

どちらにしても人口減を留めることはできませんが、何としても減少スピードを緩めていくといったことにしないと、財政上も住民の暮らしやすさも、だいぶマイナスの方向に走りますので、考えていきたいと思っています。

②6月議会を控えて、いわゆる世界情勢というかイランの戦争に関わって、原油の不足とか物価の高騰とか、そういったことが町内にどのくらいの影響があるかということについて、我々としても把握したいのですが、庁舎内の聞き取りの段階で言えば、全体として大きな影響が具体的に出ている状況ではないというふうに思います。もちろん、一部の農家の資材高騰とか、福祉施設の食材を含む値上げですとか、建設工事の発注の遅れとか、そういったものは公共も問わず民間も問わず若干見られますけれども、巷で言われているような状況にはまだないのかなと思っています。

ただ、2ヶ月後、3ヶ月後が心配ですっていうのはものすごくあります。おそらく今は、抱えている在庫の中で対応できている部分が多いのではないかなというふうに思っていて、これから長くこの課題が続いた場合は、例えば、今回予定をしている松島保育園の建築工事についても、組み立て式のプールが来ないですとか、そういうことも出てきていますので、心配はしています。

現時点で町が対応するような感じにはないのかなという感じがしていて、もう少し詳しく調べていきたいということと、国の動きで、経済対策になるのかどうか分かりませんが、それが、ガソリンとか電力とかプロパンとかそういったところに行くのか、それ以外の個人的な給付のところまで入ってくるのかによってだいぶ変わってくると思いますが、その辺について注視をしていきたいと思っています。

③職員の採用が始まっていますが、人材不足でどうにもならないということでありまして、例年より1ヶ月ほど前倒しをして採用選考の募集をしまして、事務職の上級、中級、それと保育士の応募を締め切っておりますが、非常に少ない数値になっています。

箕輪町だけではないと思いますが、公務に対して応募が非常に少ないということと、何より心配なのは箕輪中学校を卒業した子供たちがなかなか応募してくれないというのが我々の1番の課題となっています。中学校の段階で箕輪学をやったり、地域でのイベントに参加してもらったりしながら地域愛を育てていくつもりですが、なかなか子供たちにまだそれが届いていないと感じています。都会にはそれ以上の魅力があるということだと判断せざるを得ないんです

けども、それか、私たちの努力が足りないのか。ただ、人材は確保しておかないと、長い行政を進めていく上には何ともしがたいので、これから経験者採用とか、そういったことで採用の幅を今も広げておりますが、これからまた新卒がなかなか入らないということであれば、いろいろな手立てをして人材の確保していかなければならないというふうに思っています。

私たち程度の町だとなかなか厳しいという感じがしておりますが、何としても人材確保は行っていかなければならないと思っています。

(記者) 先月の記者懇談会で、6月までに進退について考えるといった話があったと思いますが、6月議会も始まるということも踏まえて、表明の方法や時期についてどうお考えでいらっしゃいますか。

(町長) 前回申し上げた通り、6月とか7月とかそういう時期に表明をするそのつもりではあります。それよりも、3期12年に行ってきた、私の公約といいますか、町民の皆さんと約束をしたことと、第5次振興計画、10年計画をして2年延ばしていますが、その計画の進捗が私の責任でもあるので、それがどうであったかという精査を今しています。それについては段々と出来あがってきていて、議会から質問等があれば回答していきたいと思っています。

その上で、次をどうするかについては、議会の中で示すのか、また、様々な要素もありまして、どこで公表かはまだわかりませんが、6～7月という約束はしていますので、その段階ではさせていただきたいと思っています。議会で示すかは、今のところまだ決めておりません。

(記者) 議会があるということで、去就について注目が集まっているかなと思いますし、質問も出ることも想定されるかと思いますが、質問が出た段階でその時のお考えをお答えするというイメージですか。

(町長) そのために今回答を用意しているつもりはないんですが、町民の皆さんに評価をしていただけるような内容になったかどうかということが、私にとっては大事なことなので、そのことだけは申し上げたいと思っていますが、その後どうするかについては、質問内容にもよりますし、その時点の状況にもよるので、今のところ議会を目指してこうしようということはないです。

(記者) 議会がありますが、6～7月を目処で、具体的な時期を想定してらっしゃるということではないということでしょうか。

(町長) 具体的な日は決まっています。本来は議会だと思っていますが、場合によっては記者会見とかいうことも当然あると思っています。6月以降、臨時議会が入るかわかりませんが、そういったことも含めて考えていますが、いずれにしても公式な形で、議会もしくは記者会見という形でさせていただきたいと思っています。